



野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



珍客 アカハジロ君登場！ (巨勢川調整池/撮影：加藤 芳隆さん)

野鳥さが 251号 主な内容

- 佐賀県支部 30周年記念式典 ご案内-----2ページ
- 役員会報告-----3ページ
- 事務局便り-----5ページ
- 各地の探鳥会報告-----7ページ
- 皆さんからのおたより-----10ページ
- 皆さんからの野鳥&自然・生きもの情報-----13ページ
- 近隣地区の観察会情報&有明海の満潮時刻-----16ページ
- 探鳥会会場までの案内-----17ページ
- 探鳥会などのお知らせ (2024年4月~6月)-----18ページ



佐賀県支部30周年記念式典 ご案内

日本野鳥の会佐賀県支部は、今年6月で30周年を迎えることとなりました。
つきましては 下記のような日時で式典を執り行いますのでお知らせいたします。

日時：令和6年6月23日（日）

13：00～14：00 支部総会

14：30～15：00 コアジサシ、コウノトリの保護活動報告（映像）

15：00～16：30 安西英明氏による講演

テーマ「いつでもどこでもバードウォッチング」

17：00～19：00 祝賀会

会場：グランデはがくれ（佐賀市天神2丁目1-36） TEL 0952-25-2212

※講師の安西英明氏はバードウォッチングのスペシャリストとして全国的に有名な方
ですので皆さんご存知だと思いますが、簡単にご紹介します。

1956年東京生まれ。1981年、日本で初めてのサンクチュアリ「ウトナイ湖サンク
チュアリ」にチーフレンジャーとして赴任。

現在は公益財団法人日本野鳥の会参与として、野鳥や自然観察、環境教育などをテーマ
に講演、ツアー講師などで全国や世界各地で活躍中。

他にも公益財団法人日本環境教育フォーラム理事、苫小牧観光大使

著書は「見る 読む わかる野鳥図鑑」

DVD付き季節の野鳥図鑑「春の野鳥」を見に行こう

「スズメの少子化、カラスのいじめ」

「野鳥 eco 図鑑」 など多数

今回の講演テーマ「いつでもどこでもバードウォッチング」は季節や環境ごとに、
どんな種の野鳥がどのように暮らしているかは概ね決まっているので、ちょっとした
知識と感性で楽しむことができる。 さまざまな種、珍しい種を見分けるにも身近な
野鳥との比較が必要になるので、いつでもどこでも出会える野鳥の驚異（不思議で驚く
べきこと）を知り、日頃から鳥を意識して親しむようにするとよい。 鳥を支える虫や
植物など命のつながりから、自然や地球の感じ方まで展開するお話を楽しく面白くし
てくださいます。 是非とも多くの会員の方に参加していただきたいと思っています。
安西英明氏は前日の夕方、佐賀にいらっしゃいます。

記念式典当日の午前中に安西氏と共に野鳥観察会を予定しています。

詳しくは次号支部報でお知らせしますが、予定を組んでおいてください。

支部総会・式典・祝賀会への出欠伺いの往復ハガキを会員の方にはお送りしています。

準備の都合上4月末までには返信ハガキを投函してください。

費用は祝賀会参加者のみ大人一人3,000円です。中学生以下の子供は無料。

会員同士の仲間づくりにもなります。 探鳥会になかなか参加できない方もこの日は是非



参加して「鳥談義」しませんか？ 多くの方のご参加をお待ちしています。
なお、30周年記念バッジもこの時お配りします。記念バッジのデザイン募集には4名の方から応募がありました。
青柳隆さん、明楽晴子さん、八木ひとみさん、山崎章弘さん ありがとうございました。
役員会で検討した結果 「コアジサシのヒナ 120羽 孵化成功！」
のバッジがいいのでは？ ということで、可愛いバッジが出来上がりました。
どんなバッジかは当日のお楽しみ！



役員会報告

(事務局:島田 洋)

【日 時】 2024年2月11日、3月10日

【出席者】 2/11:14名 3/10:15名

【主な話し合い項目】 (既に終了した案件については割愛したものがああります)

(1) 30周年記念行事について

- ① 6月23日に佐賀県支部創立30周年記念行事を開催する。
- ② 午前中はコアジサシ営巣地見学、午後は支部総会、(公財)日本野鳥の会・安西さんの講演会、食事会の予定。
- ③ 案内状を発送して、来賓や参加者を把握し、式次第の詳細を考えていく
- ④ 佐賀県支部創立30周年記念バッジを作る。 コアジサシの親子を図案化したバッジである。
- ⑤ 行事全体の段取りや役割分担について意見を交わした。

(2) シギチドリ祭り(シギチフェス2024)について・・・5月5日～6日に干潟よか公園(東与賀町)で開催される。 探鳥会には佐賀県支部が協力する。

(3) コウノトリについて

- ① 今年もコウノトリの営巣繁殖を期待したい。
- ② 昨年使用した電柱をまた利用するかもしれないが、今のところ、コウノトリが電柱(昨年と別のところ)に巣をかけてもすぐに落とされている。
- ③ 今後どうなるか先行きは不明である。営巣した際は見守りを行う予定。詳細は状況を見つつ決めていく。

(4) コアジサシについて

- ① コアジサシは今年も諸富浄水場跡地で営巣をすると期待されている。
- ② 昨年は、116羽が巣立ちした。今年もたくさん巣立ちしてほしい。
- ③ 営巣地整備には大量のカキ殻が必要である。3月20日には営巣地にカキ殻を運び込む。 3月30日・31日に営巣地の整備作業を行う。



- (5) ブッポウソウについて・・・富士町などに新しく巣箱をかける。 メンテナンスを続けていく。 ブッポウソウの繁殖を期待したい。
- (6) カササギについて
- ① 佐賀県の県鳥・カササギは減っていく一方である。
 - ② 肝心の佐賀県がなかなか動こうとしない。 県への働きかけを続けたい。
 - ③ カササギの保護を求めて署名活動を行うことになろう。
- (7) ツルの分散化計画について
- ① マナヅルやナベヅルが、鹿児島県出水市に集中しすぎている。
 - ② ツル分散計画の一環としてデコイを設置している またビオトープ造成などでツル分散計画に貢献したい。
- (8) ビオトープについて
- ① 佐賀市東与賀にビオトープを造成する。 「休耕田」約 5000m²を造成する。
 - ② ツルやコウノトリの飛来を期待している。 人工巣塔を設けた。
 - ③ ビオトープの設計は朝日テクノに依頼する。
 - ④ ビオトープの維持管理には、それなりの努力を要する。
 - ⑤ 情報やノウハウを集めるために徳島県のビオトープを見学した。
- (9) 佐賀市野鳥調査について
- ① 佐賀市からの委託で佐賀市内の 40 カ所を 3 年かけて調査している。
 - ② 2024 年度は 14 カ所で行う。 春、夏、秋、冬、早春にそれぞれ 2~3 回の調査を行う予定である。
 - ③ ていねいな調査を心がけたい。 必要があれば、夜間の調査も行うこととなろう。
 - ④ 次回の役員会で担当を調整していく。
- (10) 九州沖縄ブロック大会について・・・2025 年度からブロック大会が再開となる。 今度の開催は福岡支部が担当となる。
- (11) 野鳥観察会の会場・・・野鳥観察会の会場が何カ所かに限定されてしまっている。 佐賀県内のさまざまな地域に観察会場を展開したい。
- (12) 愛鳥モデル校について・・・「玄海みらい学園」が新たに愛鳥モデル校となる。 3 校目のモデル校である。
- (13) その他、佐賀県支部規約一部改正、支部役員人事・業務内容、今後の探鳥会などについての協議を行った。





事務局便り

(事務局:青柳 良子)



(1) ようこそ 佐賀県支部へ！・・・支部入会者情報

支部報 250 号でお知らせした以降の入会者情報をお知らせいたします。

新入会者 10 名！ 佐賀県支部は会員数がジワジワと増えています (*^_^*)

1 月入会者 4 名 (うち家族会員 1 名) 2 月入会者 3 名

3 月入会者 1 名 4 月入会者 2 名 (すでに入会されている方の家族会員)

佐賀県支部の会員は現在 279 名です。

新入会員の皆様！ 積極的に参加してください。楽しい仲間が待っていますよ！
また、入会はしたけれどもまだ一度も参加されてない方もいらっしゃいます。
是非いらしてください。お待ちしております！

『観察会に参加できないから・・・』とか『高齢だから・・・』との理由で退会される方もおられます。

私たち野鳥の会は鳥や自然を愛でる趣味の会ですが、同時に野鳥を大切にする活動を通して
どんどん失われていく自然を守る自然保護団体でもあります。

私たち一人一人の数が！

みんなの出し合う会費が！

自然を守る『力』になります！

「会員」でいることが「自然保護に協力していること」になるのです。

お願いします。経済的にご負担でなければ会に籍を置き続け、今残る自然を次の世代へ引き
継ぐ『力』を貸してください!!

みなさまの周りに花や昆虫など自然の生き物に興味・関心をお持ちの方はいらっしゃい
ませんか？ 是非お誘いください。野鳥の会は 「いつでも入会 OK」です。

日本野鳥の会とは

「野鳥も人も地球のなかま」を合言葉に、野鳥や自然の素晴らしさを伝えながら、自然と
人間とが共存する豊かな社会の実現を目指し、活動を続けている自然保護団体です。



(2) 2023 年度愛鳥モデル校活動報告

(報告者：江口 富美子さん)

2023（令和5）年度の愛鳥モデル指定校の愛鳥指導が終了しました。
前年度に引き続き、伊万里市立東山代小学校と佐賀市立富士小学校で指導を行いました。

【伊万里市立東山代小学校】4年生2クラス 68名

- ① 2023年12月5日 「学習会・鳥の雑学」 (指導者：宮原、山崎、江口)
- ② 2023年12月7日 「学習会・鳥の雑学」 (指導者：宮原、山崎、江口)
- ③ 2023年12月15日 「野鳥観察会」
(指導者：宮原、田中丸、馬場、山崎、田辺、江口)

【佐賀市立富士小学校】4年生

- ① 2024年1月12日 「学習会・鳥の雑学&野鳥観察会」
(指導者：宮原、水田、江口)
- ② 2024年2月16日 「学習会・鳥の雑学&巣箱作り」
(指導者：宮原、水田、江口)

親子での参加でした。 親子13組。

指導協力ありがとうございました。両校にその後の子供たちの様子を聞きました。
どちらの子供たちも鳥への関心が出たのか、質問があったそうです。

●「お願い&感謝のお礼」・・・馬場 清さん（嬉野市）

3月弥生の気候は三寒四温と申します。 桜花のお花見も目前ですネ！
愛鳥モデル指定校の指導担当を20数年間にわたり関わって来ましたが、この度交代しました。 日本野鳥の会佐賀県支部は県下の小中学校の児童生徒さんへ指導活動を行っております。 野鳥観察や野鳥勉強会、巣箱づくり、野鳥座寸劇などを行い、自然環境や野鳥の知識に少しでも目を向け、関心を持って欲しい願いです。

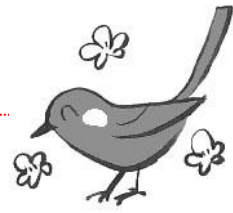
当初は県下に10校の小中学校モデル指定校が有りました。一年中、学校指導訪問が有り、大変なスケジュールでした。 よく出来たなあ～と思います。現在は3校になり、少しは余裕が出来ました。(富士小、東山代小、玄海みらい学園・小学部)
当時の子供たちも大人になり、その子息さんもおられます。 「野鳥と人は地球の仲間」です。 野鳥に興味を持ち、関わりを深めて欲しいものです。

愛鳥モデル指定校のご指導にご協力下さいました会員の皆様に事故もなく終わった事に感謝申し上げます。 ありがとうございました。





各地の探鳥会報告



■東よか干潟（大授揚）探鳥会報告（佐賀市）

①【日 時】 2024年1月14日

【参加者】会員14名 非会員1名（案内役：田中丸雅雄、加藤芳隆）

【観察された野鳥】ツクシガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、カワウ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、ダイゼン、ハジロコチドリ、シロチドリ、メダイチドリ、ソリハシセイタカシギ、オオハシシギ、オオソリハシシギ、チュウシャクシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、アカアシシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、コオバシギ、トウネン、ハマシギ、ユリカモメ、ズグロカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、トビ、ハシボソガラス、ハシブトガラス（32種）

【案内役より】

朝から雲のない快晴。風もなく日射しが温かい。満潮まで時間があり、中央部に移動しながら観察する。最初に4羽に増えたソリハシセイタカシギ。次第に潮も満ちて鳥たちも近づいてくる。ハヤブサの襲来にハマシギの群が逃げ惑う。天候に恵まれ満足する観察会でした。

②【日 時】 2024年2月11日

【参加者】会員16名 非会員1名（案内役：田中丸 雅雄、加藤 芳隆）

【観察された野鳥】ツクシガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、カワウ、アオサギ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、ダイゼン、ソリハシセイタカシギ、チュウシャクシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、ツルシギ、アカアシシギ、アオアシシギ、ハマシギ、ユリカモメ、ズグロカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、ハシブトガラス（24種）

【案内役より】

前日の天気予報では50%の降雨確率でしたが、朝から雨の気配はない。ソリハシセイタカシギのいる東側に向かう。首を振り、餌を採る4羽を見る。ズグロカモメの頭の黒い個体が少し。中央部に移動し、ヘラサギ、クロツラヘラサギの群に今年に越冬中のE92標識の個体。満潮となり干潟は水没し、水面に浮かぶソリハシセイタカシギが飛び立ち、観察会を終了する。

■多久聖廟探鳥会報告（多久市）

【日 時】 2024年2月4日

【参加者】会員21名 非会員1名（案内役：水田 稔）

【観察された野鳥】カワウ、コサギ、ダイサギ、アオサギ、コガモ、マガモ、クサシギ、イソシギ、キジバト、カワセミ、コゲラ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ピンズイ、ヒヨドリ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、エナガ、シジュウカラ、ヤマガラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、カワセミ、アトリ、スズメ、

ムクドリ、カササギ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、リュウキュウサンショウクイ（34種）

【案内役より】

昨年に引き続き、2月の探鳥会となりました。今年は西溪公園を經由して牛津川へ向かいましたが、公園ではビンズイ、リュウキュウサンショウクイが見られて参加者は喜んでおられました。公園の芝生広場では、昨年に続き小鳥の数が少なく感じました。また、牛津川周辺ではカワセミが今年も出てくれて、何人かは水面をすーっと飛ぶ美しい姿を橋の上から見る事が出来ました。

■小島古墳探鳥会報告（伊万里市）

【日 時】 2024年2月23日

【参加者】 会員13名（案内役：宮原 明幸）

【観察された野鳥】 カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、セグロカモメ、ウミネコ、オオバン、イソシギ、ミサゴ、トビ、キジバト、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、イソヒヨドリ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、アオジ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス（28種）

【案内役より】

開催が危ぶまれる空模様でしたが、開催中は小降りとなりバードウォッチング出来ました。小島古墳は伊万里湾内にあり、海に突き出た小山です。山野と水辺の鳥が混在する環境ですが、周りの開発が進み鳥は種・数ともに少ないようです。

■林業試験場探鳥会報告（佐賀市）

【日 時】 2024年3月3日

【参加者】 会員32名（案内役：宮原 明幸）

【観察された野鳥】 カワウ、アオサギ、カルガモ、ハイタカ、ハイイロチュウヒ、キジバト、コゲラ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、アカハラ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、クイタダキ、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ミヤマホオジロ、カワラヒワ、スズメ、ミヤマガラス、ハシボソガラス、ハシブトガラス

【案内役より】 (25種)

春とは名ばかりの寒い朝ですが、32名もの参加がありました。

狭い林業試験場に沢山のバーダー、鳥達も驚いたのか？ なかなか姿を見せてくれませんでした。



（写真提供：加藤 芳隆さん）

■非会員様限定バードウォッチング 開催報告

【日 時】 2024年1月21日

【会 場】佐賀県立森林公園（佐賀市）

【参加者】非会員4名（会員・スタッフ：10名）

【観察された野鳥】カワウ、カンムリカイツブリ、カイツブリ、ダイサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、ヒドリガモ、トビ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、タゲリ、セグロカモメ、ズグロカモメ、キジバト、ドバト、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、オオジュリン、アトリ、カワラヒワ、ムクドリ、ホシムクドリ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス（30種）

【案内役（島田 洋）より】

今回は非会員向けの観察会です。開始前は曇り空、なんとか天気はもちそうです。非会員の参加者も受付されました。9時過ぎに観察開始。まずは、ツグミの姿。さらにムクドリの群れが右に行ったり左に行ったり、ようやく木の枝に停まってくれました。ムクドリの中にホシムクドリが混じっています。ホシムクドリの姿を見るのは久しぶりです。初心者も熱心にフィールドスコープをのぞいてありました。少学3年の女の子も野鳥の姿を見て「かわいい」と喜んでくれました。嘉瀬川は水位が低い。アオサギが大きなフナをのみ込むところが観察されました。ただ森林公園も以前に比べて野鳥の姿は減っています。カワセミがいない。コゲラが出てこない。オオバンがいない。オオバンがこの時期いないというのはなんか変。集合場所に戻り、鳥あわせをしました。30種類です。初心者の皆さんも楽しんでおられました。佐賀県支部の会員増加につながることを期待します。こういう観察会を重ねることが大事だと思います。

【日 時】 2024年2月18日

【会 場】佐賀県立森林公園（佐賀市）

【参加者】非会員4名（会員・スタッフ：13名）

【観察された野鳥】カワウ、カイツブリ、コサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、ヒドリガモ、オオバン、タゲリ、ズグロカモメ、キジバト、ドバト、コゲラ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、ヒレンジャク、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、シジュウカラ、ホオジロ、アオジ、カワラヒワ、スズメ、ハシボソガラス（25種）

【案内役（島田 洋）より】

よく晴れています。2月だけど完全に春の趣です。参加者が集まり、9時過ぎに観察を開始しました。ツグミやシジュウカラなどを見かけますが、野鳥の数が本当に少ない。そんな中、長岡さんが「レンジャクが、いました」と言われる。長岡さんのカメラには、その映像がありました。「たった今」。森林公園でのレンジャク目撃は実に久しぶりの出来事です。水田さんから参加者にはレンジャクの説明がありました。非会員の参加者の方も結構野鳥の知識があり、ずいぶん盛り上がってました。嘉瀬川ではタゲリの姿。今年はなぜかオオ

バンが少ない。いろんな事が起きているのだと思います。参加者の皆さんには結構楽しんでもらえたと思います。

このような観察会が、支部会員の増加につながることを期待します。



皆さんからのおたより



●「沖縄探鳥記」・・・八木 ひとみさん（佐賀市）

2月、野鳥の会の仲間と沖縄へ探鳥旅。那覇空港からレンタカーで3泊4日。3日間は県北のやんばる、最後の1日は中部の海の近くの畑で鳥を捜しました。やんばるで道路わきで採食中の念願のヤンバルクイナに奇跡的に会えて大喜び。本土では夏鳥のサシバがあちこちにいます。サシバは旅鳥ですが一部は沖縄で越冬すること。畑ではチュウサギ、アマサギ、シロガシラ、ヒバリシギ、コチドリなど。水路ではイソシギ、クサシギ、アオアシシギなど。念願の初見のリュウキュウヨシゴイにも会えました。リュウキュウヨシゴイは擬態しているらしく、見飽きるほどにじっとして動きませんでした。初見のクイナも見つけてもらい満足の旅になりました。



ヤンバルクイナ



サシバ



チュウサギ



シロガシラ



ヒバリシギ



リュウキュウヨシゴイ



クイナ



●「カメラでウオッチング from “OUTI” Part9」

・・・小松 常光さん（唐津市相知町）

【シロハラ初撮れ】冬に来るシロハラが初めて撮れました。子供の頃はカッチョと呼び小学生でも仕掛けられる地畏の格好のターゲットでした。

【ミヤマホオジロ♀ ミヤマホオジロ♂】近くのエサ台に来たところを窓の隙間からパチリ。やはりオスが綺麗、でも、メスも綺麗でした。（1/22）



シロハラ



ミヤマホオジロ♀



ミヤマホオジロ♂

【マナヅル北帰行】2月4日付け「佐賀新聞」の佐賀大学徳田先生「生き物ヒトとなり（94）」でマナヅルが取り上げられました。今は、そのマナヅルが繁殖地へ帰る北帰行のシーズンです。隣り町の鎮西町の友人も「ツルは毎年、頭の上を沢山飛んで行くぞ」と方言で教えてくれました。①は伊万里で、②～④は唐津市屋形石で過去に見かけたものです。屋形石ではまだ薄暗い耕作放棄地に200羽以上の大集団が一晩羽を休めていましたが、小生に気付いたのか次々と明け始めた空へと羽ばたいては大旋回を繰り返しながら隊列を組み、北へ向かって飛んで行きました。凄い迫力でした。（2/14）



① 伊万里にて



② 屋形石にて



③ 屋形石上空



④ V字隊列での飛行

【アセビ】漢字では馬酔木。毒があり食べると馬もやられるとか。 2月に咲くとは知りませんでした。ドウダンツツジやブルーベリーの花の形にそっくりでした。7ミリくらい。

【ミヤマホオジロ】ミヤマホオジロはエサ台に来てくれています。あとはホオジロ、ソウシチョウ、シロハラ、スズメ、ヒヨは来ますが本命のアトリは「ゼロ」のままです。

【梅は五弁】佐賀大学徳田先生の「生き物ヒトとなり(93)」によれば、梅は中国では蘭・竹・菊と共に「四君子(しくんし)」の一つで、更に花びらが5枚で「五福」があると言われているそうです。(2/19)



綺麗なピンク アセビの花



ミヤマホオジロ君



ウメの花

【ピーナッツいただき!】ピーナッツはシジュウカラの大好物。

新しいピーナッツを取り付けると何処からともなくすぐにやって来ます。取り付ける枝を毎回変えてもすぐに探し出すのは、遠くに居ても空気を伝って漂ってくる何らかの匂い成分をキャッチするからでしょう。(2/28)

【木いちごの花】木いちごの花がひっそりと咲いています。今頃咲くんですね。

大きさは1センチちょっと。黄色い実は絵になります。木には全身びっしりと鋭いトゲがあり、どんどん根を伸ばしては繁殖する厄介者です。

【つくし】少し育ち過ぎていますが、斜面で見つけました。(3/15)



シジュウカラ



木いちごの花



つくし

～野鳥さが原稿募集中～

①詩歌・句・イラスト募集! 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。

②投稿・ご意見などをお寄せください。(編集部:馬場順一)

〒841-0053 鳥栖市布津原町61 A12-11 携帯:090-5084-2649

(Eメール) f_baba841@ybb.ne.jp





皆さんからの野鳥&自然・生きもの情報



■加藤 芳隆さん（上峰町）

★今日の大授撮（東よか干潟）

- 【1月28日】ダイゼン、メダイチドリ、シロチドリ、ハジロコチドリ、トウネン、ハマシギ、アカアシシギ、ツルシギ、アオアシシギ、コアオアシシギ、コオバシギ、オオハシシギ、チュウシャクシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、ソリハシセイタカシギ、クロツラハラサギ、ハラサギ、ダイサギ、アオサギ、セグロカモメ、ズグロカモメ、ユリカモメ、ツクシガモ、オナガガモ、ヨシガモ、カルガモ、コガモ、カワウ、ツリスガラ、オオジュリン
- 【2月11日】シロチドリ、メダイチドリ、ダイゼン、トウネン、ハマシギ、オオハシシギ7羽、ツルシギ、アカアシシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ、ソリハシセイタカシギ4羽、ズグロカモメ、ユリカモメ、セグロカモメ、ツクシガモ、オナガガモ、ヨシガモ、カルガモ、ヒドリガモ、カワウ、アオサギ
- 【2月25日】ハジロコチドリ、シロチドリ、メダイチドリ、ムナグロ、ダイゼン、トウネン、ハマシギ、コオバシギ、オオハシシギ、ツルシギ、アカアシシギ、アオアシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ、ソリハシセイタカシギ、クロツラハラサギ、ハラサギ、アオアシシギ、セグロカモメ、ズグロカモメ、ユリカモメ、カワウ、ツクシガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、ヨシガモ、コガモ、ヒドリガモ



トウネン



コオバシギ



ハジロコチドリ

- 【3月9日】ソリハシセイタカシギ、ハジロコチドリ、シロチドリ、メダイチドリ、ダイゼン、トウネン 3羽、ハマシギ、コオバシギ、オオハシシギ 5羽、ツルシギ 6羽、コアオアシシギ 2羽、アオアシシギ、オグロシギ 1羽、オオソリハシシギ 1羽、ダイシャクシギ 190羽、ホウロクシギ 9羽、チュウシャクシギ 1羽、クロツラハラサギ、ハラサギ、アオサギ 38羽、セグロカモメ、ズグロカモメ、ユリカモメ、ツクシガモ 2128羽、ホシハジロ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、ヨシガモ、コガモ、オオジュリン





オグロシギ



ダイシャクシギ

★その他の地区

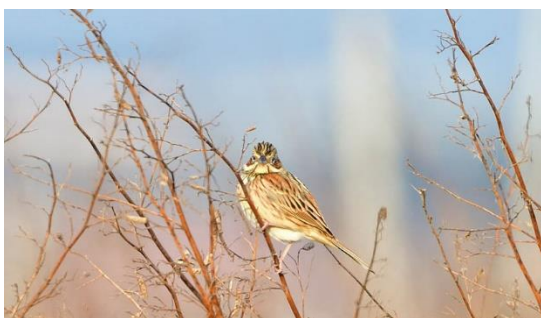
巨勢川調整池

【1月28日】カルガモ、マガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、キンクロハジロ、トモエガモ、ホシハジロ、ミコアイサ、コガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、アカハジロ、オオジュリン、モズ、タゲリ、ホオジロ、カンムリカイツブリ、カイツブリ、オオバン、ミサゴ、チュウヒ

白石

【1月28日】ツクシガモ、スズメ、カワウ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、コガモ、クロツラヘラサギ、ヘラサギ、ムクドリ、ホシムクドリ、コサギ、アオサギ、タゲリ、トビ、ヒバリ、ハクセキレイ、モズ、ハシビロガモ、カンムリカイツブリ、オオバン、カルガモ、カワラヒワ、ジョウビタキ、オオジュリン、ハヤブサ、ホオアカ

【2月4日】ムクドリ、ハシボソガラス、キジバト、ハシブトガラス、カシラダカ、コサギ、アオサギ、スズメ、ハシビロガモ、カワラヒワ、オオジュリン、トビ、クロツラヘラサギ、ヘラサギ、ツクシガモ、タゲリ、ハクセキレイ、ハヤブサ、ホオジロ、オオバン、カルガモ、セイタカシギ、ホシムクドリ、チョウゲンボウ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、ヒシクイ、マガン、オカヨシガモ、ヨシガモ、ユリカモメ、セグロカモメ、カワウ



左上：ホオアカ／右上：カシラダカ



←マガン



【2月11日】コウノトリ3羽、セイタカシギ、クロツラヘラサギ、ヘラサギ

【2月18日】アカツクシガモ、ホシムクドリ、ムクドリ、タゲリ、オオジュリン、ハクセキレイ、クロツラヘラサギ、ヘラサギ、ツクシガモ、キンクロハジロ



ホウロクシギ



コウノトリ



アカツクシガモ (上)

■秀島 泉さん (多久市)

2月18日 【北九州市】キレンジャク群団に出会いました。西日本ではヒレンジャクが多いと聞きましたが、今回はほとんどがキレンジャクでした。

2月24日 【白石町】ホシムクドリ 50羽以上のムクドリとの混群

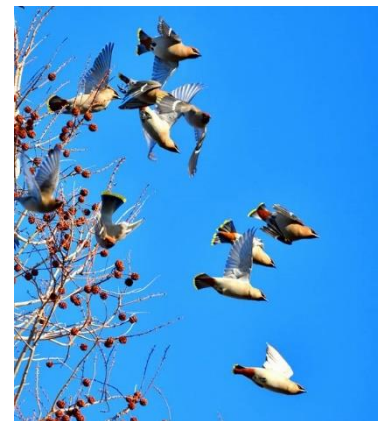
3月3日 【林業試験場】キクイタダキ 探鳥会の際に小学生の女の子が見つけてくれて、その後改めて探しに行きました。



キレンジャク群団



ホシムクドリ



つばらな瞳のキクイタダキちゃん →

● 近隣地区の探鳥会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

■日本野鳥の会 福岡支部 (参加費：会員 100円 一般 300円 中学生以下無料)

- ・福岡市西区今津：4/7(日) 5/5(日)
- ・福岡市大濠公園：4/13(土) 5/11(土)
- ・筑紫野市天拝山：4/21(日) 5/19(日)
- ・春日市春日公園：4/2(火) 5/7(火)
- ・福岡市和白海岸：4/14(日) 5/12(日)
- ・福津市久末ダム：4/28(日) 5/26(日)

■日本野鳥の会 筑後支部 (参加費：会員&高校生 100円 一般 200円 中学生以下無料)

- ・小郡市花立山：4/7(日) 5/5(日)
- ・久留米市高良山：4/28(日) 5/26(日)
- ・大牟田市黒崎公園：4/14(日)
- ・みやま市濃施山公園：5/12(日)

※探鳥会の日程、場所に変更されることもあります。

上記以外にも、月例探鳥会(福岡支部)や企画探鳥会(筑後支部)が実施されています。

お問い合わせは各支部のHPへ 福岡支部 <http://hachikuma3.blog.fc2.com/>

筑後支部 <https://wbsj-chikugo.org/>



有明海の満潮時刻 (六角川観測塔)



※潮高 5m以上、午前 7 時頃から 12 時頃に満潮を迎える日時を掲載しています。

1 月の潮位と時刻は気象庁の潮位表(大浦港)を参考に算出しています。

	時刻	潮高(m)		時刻	潮高(m)
4月6日	7:38	5.0	5月5日	6:53	5.0
4月7日	8:22	5.3	5月6日	7:39	5.3
4月8日	9:02	5.6	5月7日	8:21	5.4
4月9日	9:38	5.6	5月8日	9:00	5.4
4月10日	10:11	5.6	5月9日	9:37	5.3
4月11日	10:40	5.4	5月10日	10:11	5.2
4月12日	11:06	5.1	5月11日	10:43	5.0
4月22日	8:17	5.0	5月22日	8:03	5.1
4月23日	8:46	5.1	5月23日	8:40	5.1
4月24日	9:16	5.2	5月24日	9:16	5.1
4月25日	9:45	5.2	5月25日	9:52	5.1
4月26日	10:13	5.1	5月26日	10:28	5.0
4月27日	10:40	5.0			

満潮時刻と潮高をたしかめてから行こう！

■ 東よか海岸

潮高 5.0m 満潮の2時間前くらいがベスト！

■ 鹿島新籠海岸他

潮高 4.0m 満潮の1時間前後がベスト！

満潮時には、残された干潟に鳥が集まり、近くで見やすい状態になります。ただし、小潮だと遠すぎるし、大潮になると干潟が水没してしまって、鳥が移動してしまいます。)





探鳥会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡を！

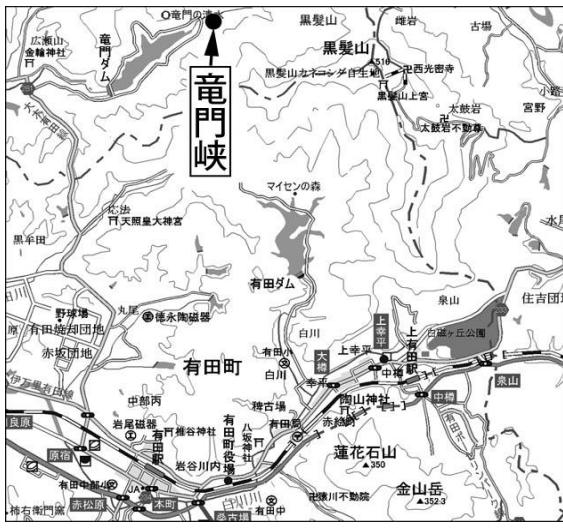
①4月7日 小城市・千葉城址



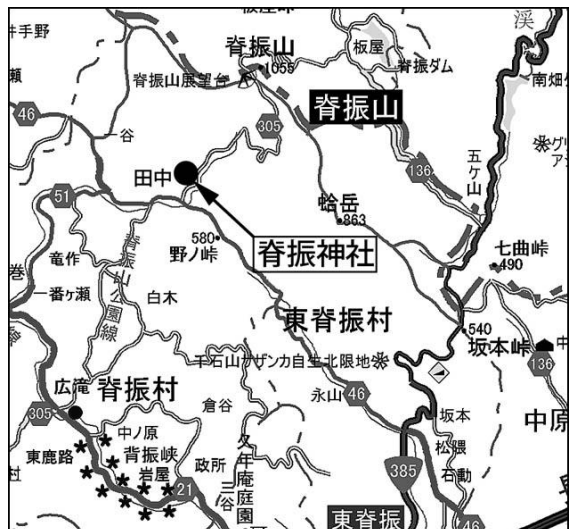
②4月25日 ③5月5日、6日 東よか干潟



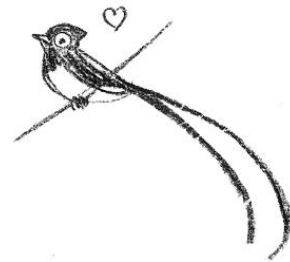
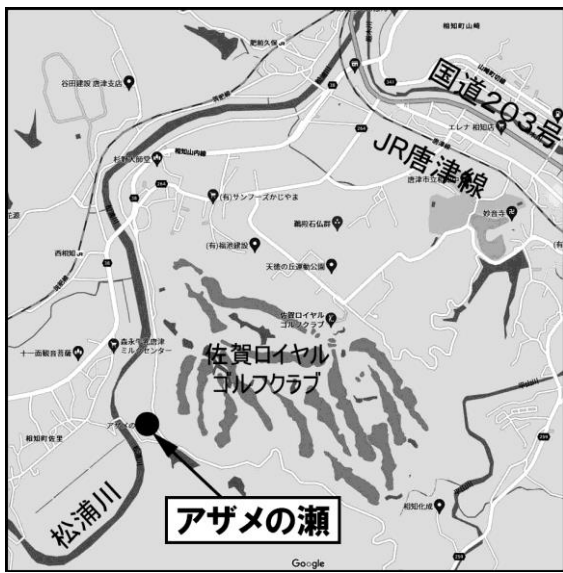
④5月12日 有田町・竜門ダム&竜門峡



⑤5月26日 神崎市・脊振山



⑥6月2日 唐津市・アザメの瀬





探鳥会などのご案内 (2024年4月～6月)

①4月7日(日)

千葉城址 探鳥会(小城市)

[時間&場所] 9:00 「ほたるの郷」駐車場
(小城市小城町岩蔵81-8)
[担当] 蒲原 留美さん(小城市) 090-5294-3103
[見どころ] 千葉城址周辺で春を過ごす小鳥たちを
観察します。

③5月5日(日)/6日(月)

東よか干潟シギチフェス(佐賀市)

[集合] 7:30 東よか干潟ビジターセンター
「ひがさす」(佐賀市東与賀町田中)
[見どころ] シギチフェスのほか、干潟で、渡り真っ最
中の夏羽のシギ・チドリを観察します

⑤5月26日(日)

脊振山 探鳥会(神崎市)

[時間&場所] 9:00 脊振神社下宮駐車場
(神崎市脊振町腹巻1447)
[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085
[見どころ] 「カッコウ」「ホトギス」「オオルリ」等、夏鳥
たちの歌声を楽しみます。

観察会のお問い合わせは、佐賀県支部 web サイト
(ホームページ)の「お問い合わせ」よりメール、又は
宮原支部長の携帯電話(090-2507-7085)へ連絡
をして下さい。

②4月25日(木)

東よか干潟(大授瀬)探鳥会(佐賀市)

[集合] 9:00
東よか干潟展望台(佐賀市東与賀町田中)
[担当] 田中丸 雅雄さん(佐賀市) 080-1707-9225
加藤 芳隆さん(上峰町) 090-4510-1560
[見どころ] 筑後支部と共催。渡りのピークを迎えた
シギ・チドリたちを観察します。

④5月12日(日)

竜門ダム・竜門峡 探鳥会(有田町)

[集合] 9:00 黒髪山・竜門キャンプ場駐車場
(西松浦郡有田町広瀬山甲2286)
[担当] 馬場 清さん(嬉野市) 090-1084-3582
[見どころ] 黒髪山を守る会と共催。
繁殖のため渡ってきた「アカショウビン」等の夏鳥を
観察します。

⑥6月2日(日)

アザメの瀬 探鳥会(唐津市相知町)

[時間&場所] 9:00 唐津市相知町佐里の
アザメの瀬自然環境学習センター駐車場
[担当] 川原 直嗣さん(唐津市) 090-8673-9152
[見どころ] アザメの瀬周辺で、子育て中の野鳥たち
を観察します。



共通事項

- ① 参加費(資料代、保険代) 佐賀県支部会員 100円 非会員は 300円
- ② 雨天中止。(前夜 18:55 のNHK 天気予報で降水確率 50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～
公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル
電話 03-5436-2620(代) FAX 03-5436-2636

日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸 (☎ 090-2507-7085)
事務局：島田 洋 (☎ 090-2393-1286)
支部 web サイト <https://www.yacho-saga.org/>